

6年生を送る会

5年生が中心となって2月28日（水）に実施される予定です。その前に、校内に掲示された子ども達による手書きのポスターを発見し、私はうれしくなっちゃいました。まず、

○ 今までお世話になった6年生に、「ありがとう」の気持ちをこめて行います。と、ちゃんとその目的を知らせてるんです。素晴らしい！さらに、それに続けて日時、場所、持ち物などを知らせてるんですが、持ち物については

○ 1～5年生は感謝の心

○ 6年生は楽しむ気持ち

と書かれていました。気が利いてますよね。感心しちゃいました。とっても素敵なポスターです。6年生との最後の思い出づくりであり、5年生が先頭に立つ最初の行事でもあります。きっと手作り感にあふれた温かな行事となることでしょう。子ども達にはいい思い出がまた1つ増えそうです。

モンゴルを知ろう！

2月16日（金）に2名のお客様に來校していただき、モンゴルについて学習しました。2年生の国語科の教材「スーホの白い馬」のお話を、より深く理解するのが目的です。

最初に日本人の女性が50インチテレビを用いて、様々な画像とともに説明してくれました。モンゴルといえば、私の頭に浮かぶのは果てしない大草原です。でも、どうしてそこに木が1本も生えていないんだろうという疑問ももっていました。しかし、この日に解決です。モンゴルの年間降水量は日本の1ヶ月分程度。だから木は育たないんだそうです。それにしてもあの大草原の画像を見たら、馬で走りたくなる気持ちがよ～く分かります。子ども達はモンゴルの民族衣装も着せてもらえました。そして、その衣装にも乗馬のための工夫がほどこさ

れていることには驚きました。

そして圧巻は、民族衣装を身にまとって登場したモンゴルの男性による「馬頭琴」の生演奏です。きれいで繊細で複雑な、とてもすばらしい演奏でした。本校自慢(?)のあの2年生が、姿勢を崩すことなく聴き入っていたのがその証拠です。2年生のみんな、今日の経験を思い出しながら「スーホの白い馬」をじっくり勉強してね！

認定会議

あまりにも欠席が多かったり学業が不振である児童は、進級できない場合があります。これは法律で決められているんです。それを検討するのが認定会議であり、本校でも先日開催されました。幸い本校には検討が必要な児童が皆無ですので、ホントに形だけの会議になる予定で始まりました。まずは1年生担任の興野先生の「1年生は良好です。全員の進級の認定をお願いします。」から始まって順調に進んで最後は6年生担任の田中先生。「6年生も良好です。卒業して欲しくないんですが、仕方ありません。全員の卒業の認定をお願いします。」...田中先生、6年生の子ども達のさらなる成長を期待して見送ってあげようよ！

読み聞かせ

本校では月に1回程度、朝の学習の時間にボランティアの方々による読み聞かせが行われています。でも、その他にも行われていることを最近知りました。図書委員の児童による読み聞かせです。委員会活動の時間に2人組になって練習をして、昼休みに図書室でその成果を発表していたのです。ある日の読み聞かせは、聞きに来た児童がたったの10人。さびしい限りです。でも、読む方も聞く方も人数なんて関係ありません。両者とも一生懸命です。ささやかな読み聞かせでした。でも、読書好きが生まれる可能性は十分でした。